

保健・医療・福祉グループ

<p>課題テーマ</p>	<p>地域における支え合いを実現するために</p>	
<p>提案事業・施策の名称</p>	<p>地域ふれあい・いきいきコミュニティサロン開設事業</p>	
<p>提案事業・施策の内容</p>		<p>提案事業・施策の取り組みの図解（イメージ）</p>
<p>【事業内容】・高齢者や子ども、障がいのある方など幅広い世代が集まる拠点（サロン・居場所）づくり（八雲本町商店街、落部・熊石中心部）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八雲総合病院をはじめとするなど保健・医療・福祉事業者によるアウトリーチ型（現場出張）サービス（講演、リハビリテーション等） ・飲食の提供、町民のアイデア（不用品交換、作品等の販売、作品展示・作業体験等）を実現できるコミュニケーションの場 ・将来的に、デマンド型交通の受付等を担う <p>【参加者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空店舗などの施設改修等開設に必要な初期投資は町が支援する ・企画、運営は、民間、NPO 法人、町内会等を想定（公募する方式も） <p>【設置内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常設型サロン：民間事業者等が常駐者を配置し運営を行い、ボランティア（有志町民・学生等）が企画や参画できる体制を作る ・臨時型サロン（地域型拠点）とも連携する ・臨時型サロン：地域会館を利用し、町内会と連携する、常設型サロン（中心拠点）と連携する 		<p>【背景】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・急速な少子高齢化による人口構成の変化や核家族化を背景に、家族介護などの機能が弱まっており、地域の相互扶助機能の低下と相まって、地域で孤独な高齢者や障がいのある方などを見守り、居場所をつくる体制づくりが必要とされる ・地域福祉、とりわけ共助への理解を深め、互いに支え合う意識を高揚させ、町民・利用者が福祉事業に参加しやすい環境づくりが必要 ・少子高齢化時代を迎え、多様な世代が健やかで活動的に生活するための気軽に立ち寄れるコミュニティの拠点が必要 <p>【問題点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・独居老人等の状況把握等、保健福祉分野で地区毎にその内容に差がある ・地域力をどうアップしていけば良いかわからない ・子どもが他の世代と交流する場所が少ない ・町内会の構成員が町内会の状況やどこにどんな人がいるかわからない ・高齢者の孤独死 ・子どもや高齢者などが気軽に集まれ交流できる場所が少ない ・行きたくても交通手段がない ・事業を担う人がいない <p>【問題の原因】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の繋がりの希薄化 ・町内会等地域における相談役・リーダーの不在、担い手不足 ・ヘルパー等の数が足りない（マンパワー不足） ・世代間交流をする場がない ・相談窓口などの存在が知られていない <p>【資源】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空家、空き店舗がある ・町内会などの地域福祉活動 ・地域会館の活用 ・地域の行事と若者の参加による地域力アップ
<p>具体的な目標</p>	<p>期待される効果</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・子ども～大人まで多様な世代が利用できる出かけたくなるコミュニティ拠点の設置 ・初めは小さく、徐々に事業規模拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や障がいのある方に孤独感を与えない ・地域力を高める ・介護予防の効果 ・町民同士の交流により新たな共生のアイデアを創出 ・町の中心地にあるので通いやすい（空き店舗、地域会館）。町内各地からさまざまな人材の参画を期待 ・行政と町民の情報交流がしやすくなる ・外出の機会を増やし、閉じこもりなどを防ぐ。 	<p>【イメージ図】</p>
<p>住民・地域の役割</p>	<p>町（行政）の役割</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・企画、運営を行う ・町民有志（小中高生も含む）などもボランティア参加し、地域力のアップに繋げる ・生活情報、家庭菜園等の野菜などを持ち寄り提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営者への支援 施設改修、修繕、経費（家賃、水道光熱費、人件費等）の助成 	